令和９年度　外国人の特別入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号　市５
松戸市立松戸高等学校　全日制の課程　国際人文科

１　選抜の資料

⑴調査書	中学校の校長から送付された調査書
⑵面接	受検者１名・評価者２名の個人面接 （日本語で行うが、一部英語によるものあり）　検査時間：１名１５分程度
⑶作文	日本語の場合は５００字～６００字、英語の場合は２５０語～３００語 受検者が、日本語又は英語を出願時に選択する。　検査時間：５０分
⑷外国人特別措置適用申請書	実施要項(様式７の⑴又は⑵)により、入国年月日及びその前後の教育歴等を説明したもの

２　評価項目及び評価基準

⑴調査書

評価項目	評価基準
記載内容	総合的に判定する際の参考とする。

⑵面接〔６０点満点〕

２名の評価者が、次の３つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（特に優れている)・b（優れている)・c（標準的である)・d（やや問題がある)・e（問題がある）の５段階で評価する。aを１０点、bを８点、cを５点、dを２点、eを１点とし、２名の評価者の評価を合計し、得点化する。

評価項目	評価基準
ア　志望理由・意欲	本校、本学科を志望した理由が明確である。 入学後の学習、その他の活動に積極的に取り組む意欲が明確である。
イ　表現・自己アピール	質問内容を理解し、適切な表現により回答することができる。 自分の考えを適切な日本語と英語で表現できる。
ウ　態度・印象	コミュニケーションの態度が適切で、誠実に対応している。

⑶作文〔６０点満点〕

２名の評価者が、次の３つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（特に優れている)・b（優れている)・c（標準的である)・d（やや問題がある)・e（問題がある）の５段階で評価する。aを１０点、bを８点、cを５点、dを２点、eを１点とし、２名の評価者の評価を合計し、得点化する。

評価項目	評価基準
ア　内容	作文題を的確にとらえた文章になっている。説明が具体的で適切である。
イ　構成	文章の構成が分かりやすく、全体的にまとまりがある。
ウ　表現・表記	文章表現が適切である。文字・単語の表記、及び字数・語数が適正である。

⑷外国人特別措置適用申請書

評価項目	評価基準
記載内容	応募資格があることを確認する。

３　選抜方法

中学校の校長から送付された調査書、外国人特別措置適用申請書等の書類の審査並びに面接及び作文の結果を資料とし、総合的に判定して選抜を行う。